

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法研究法	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部4年	学期	通年	教室名	703教室
担 当 教 員	金谷 規弘 /小嶋 高広				
実務経験と その関連資格	金谷:理学療法士として一般病院(急性期・回復期・デイケア)、クリニックでの勤務経験あり。臨床教育認定理学療法士・学校教育認定理学療法士の資格取得。大学院にて修士(学術)の学位を取得。ITパスポート取得。 小嶋:理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)・丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に勤務。主に外来リハビリテーションに従事。認定理学療法士(運動器)、修士(スポーツ健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
研究とは何かを理解し、基本統計学を学び、Excel(またはEZR)で基本的データ分析が出来るようになる。さらに、症例研究等を通じて文献検索、発表用PPTの作成、研究発表、抄録の作成が出来るようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
前期:期末試験・レポート課題(演習課題、小テストを行う場合あり) *教科書やPC、配布資料を忘れた場合は減点とする。 後期:研究発表(80%)、抄録・卒業論文(20%) *教科書やPC、配布資料を忘れた場合は減点とする。 科目の成績は、前期と後期の平均点とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:みんなの医療統計12日間で基礎理論とEZRを完全マスター!新谷歩(講談社) 参考書:いちばんやさしい医療統計_吉田寛輝(アトムス)、 理学療法士国家試験問題解説:クエスツィオンバンク2025(メディックメディア) ソフト :ワード・エクセル・パワーポイント、EZR(フリーソフト)					
《授業外における学習方法》					
抄録A4 1枚、プレゼンテーション資料 スライド12枚について、授業内だけでは作成が難しい場合は、〆切期日に合わせて、個人もしくはグループで取り組むことが必要となる。終講後にも卒業論文A4(4枚)を作成する必要がある。					
《履修に当たっての留意点》					
研究法の概要、基本的統計手法を学んだ後は、個人やグループでの主体的な学びを必要とする科目である。〆切期日を基に、計画的に能動的に担当教員に指導をあおぎながら進めて行く必要がある。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	本科目の概要について、研究(概要、EBM、エビデンスレベル、ガイドライン等)について理解できる。		PC、プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)研究(概要、EBM、エビデンスレベル、ガイドライン等)について
	各コマにおける授業予定	本科目の概要 研究の意義、研究概要、EBM、エビデンスレベル、ガイドライン、文献検索等			
第2回	授業を通じての到達目標	疫学研究、研究の種類が理解できる。		PC、プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料	(復習)疫学研究・研究の種類について
	各コマにおける授業予定	疫学研究とは、疫学研究の種類、研究デザインについて			
第3回	授業を通じての到達目標	研究倫理について理解できる。		PC、プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料	(復習)研究倫理について
	各コマにおける授業予定	研究倫理(ヘルシンキ宣言、人を対象とした研究、研究不正等)について 本校の研究倫理審査について			
第4回	授業を通じての到達目標	基本的統計学①(データと尺度)が理解できる。		PC、プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料	(復習)データと尺度について
	各コマにおける授業予定	統計学とは データと尺度について			
第5回	授業を通じての到達目標	基本的統計学②(記述統計学、基本統計量)が理解できる。		PC、プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)基本統計量について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学②-1 記述統計学 基本統計量(代表値・散布度・尖度と歪度・度数分布・ヒストグラム・標準偏差と分散)について			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	基本的統計学②(記述統計学)の図表の作成と表計算ができる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)基本統計量から図表作成と表計算ができるようになる
	各コマにおける授業予定	基本的統計学②-2 記述統計学 基本統計量(代表値・散布度・尖度と歪度・度数分布・ヒストグラム・標準偏差と分散)の表計算と図表作成方法について		
第7回	授業を通じての到達目標	基本的統計学③(推測統計学の母集団と標本、RCT、統計学的仮説検定)が理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)推測統計学について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学③-1 推測統計学(母集団と標本、RCT、統計学的仮説検定)について		
第8回	授業を通じての到達目標	基本的統計学③(推測統計学、データの分布、信頼区間)が理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)推測統計学について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学③-2 推測統計学(データの分布、信頼区間)について		
第9回	授業を通じての到達目標	基本的統計学③(推測統計学、データの分布と検定の選択)が理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)推測統計学について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学③-3 推測統計学(データの分布と検定の選択、パラメトリック検定・ノンパラメトリック検定)について		
第10回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④-1 2群の平均値の差の検定、対応なし Student/Welchのt検定、Mann-Whitney U検定、		
第11回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④-1 2群の平均値の差の検定、対応あり Paired-t検定、Wilcoxon符号付順位和検定		
第12回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④-2 3群の平均値の検定、分散分析、Kruskal Wallis検定、Freadman検定、下位検定		
第13回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④-3 X2検定(Fisher正確検定、残差分析)		
第14回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④3-4 相関分析、回帰分析		
第15回	授業を通じての到達目標	基本的統計学④各種検定について、検定し理解できる。	PC, プロジェクター 教科書・国試過去問 ・配布資料 各自ノートC持参	(復習)各検定について
	各コマにおける授業予定	基本的統計学④3-4 感度・特異度、オッズ比とリスク比		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法研究法	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部4年	学期	通年	教室名	703教室
担 当 教 員	金谷 規弘 / 小嶋 高広				
実務経験と その関連資格	金谷:理学療法士として一般病院(急性期・回復期・デイケア)、クリニックでの勤務経験あり。臨床教育認定理学療法士・学校教育認定理学療法士の資格取得。大学院にて修士(学術)の学位を取得。ITパスポート取得。 小嶋:理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)・丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に勤務。主に外来リハビリテーションに従事。認定理学療法士(運動器)、修士(スポーツ健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
研究とは何かを理解し、基本統計学を学び、Excel(またはEZR)で基本的データ分析が出来るようになる。さらに、症例研究等を通じて文献検索、発表用PPTの作成、研究発表、抄録の作成が出来るようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
前期: 期末試験・レポート課題(演習課題、小テストを行う場合あり) *教科書やPC、配布資料を忘れた場合は減点とする。 後期: 研究発表(80%)、抄録・卒業論文(20%) *教科書やPC、配布資料を忘れた場合は減点とする。 科目の成績は、前期と後期の平均点とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書: みんなの医療統計12日間で基礎理論とEZRを完全マスター! 新谷歩(講談社) 参考書: いちばんやさしい医療統計_吉田寛輝(アトムス)、 理学療法士国家試験問題解説: クエスションバンク2025(メディックメディア) ソフト :ワード・エクセル・パワーポイント、EZR(フリーソフト)					
《授業外における学習方法》					
抄録A4 1枚、プレゼンテーション資料 スライド12枚について、授業内だけでは作成が難しい場合は、〆切期日に合わせて、個人もしくはグループで取り組むことが必要となる。終講後にも卒業論文A4(4枚)を作成する必要がある。					
《履修に当たっての留意点》					
研究法の概要、基本的統計手法を学んだ後は、個人やグループでの主体的な学びを必要とする科目である。〆切期日を基に、計画的に能動的に担当教員に指導をあおぎながら進めて行く必要がある。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	後期の計画立案、文献検索、症例検討、研究テーマの検討を行う。	PC, プロジェクター、各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する	
	各コマにおける授業予定	後期の計画立案、文献検索、症例検討、研究テーマの検討			
第17回	授業を通じての到達目標	文献検索を行い、発表用PPTが作成できる。	PC, プロジェクター、各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する	
	各コマにおける授業予定	文献検索と発表用PPTの作成			
第18回	授業を通じての到達目標	文献検索を行い、発表用PPTが作成できる。	PC, プロジェクター、各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する	
	各コマにおける授業予定	文献検索と発表用PPTの作成			
第19回	授業を通じての到達目標	文献検索を行い、発表用PPTが作成できる。	PC, プロジェクター、各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する	
	各コマにおける授業予定	文献検索と発表用PPTの作成			
第20回	授業を通じての到達目標	文献検索を行い、発表用PPTが作成できる。	PC, プロジェクター、各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する	
	各コマにおける授業予定	文献検索と発表用PPTの作成			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	自己の研究発表を行うことができる。他者の発表を聞いて批判的吟味が出来るようになる。	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	コメントを記入して発表者へ建設的意見を述べる
	各コマにおける授業予定	学内中間発表会①		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	自己の研究発表を行うことができる。他者の発表を聞いて批判的吟味が出来るようになる。	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	コメントを記入して発表者へ建設的意見を述べる
	各コマにおける授業予定	学内中間発表会②		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	文献検索を行い、発表用PPTが作成できる。 (出来れば抄録の作成に取り掛かる)	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	能動的に自分のテーマに沿った研究活動を実施する
	各コマにおける授業予定	文献検索と発表用PPTの作成 (出来れば抄録の作成に取り掛かる)		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	発表用PPTと抄録を完成することができる。	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	PPTを用いて本番当日の発表の練習をしておく
	各コマにおける授業予定	発表用PPTと抄録の作成(完成させる)		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	自己の研究発表を行うことができる。他者の発表を聞いて批判的吟味が出来るようになる。	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	コメントを記入して発表者へ建設的意見を述べる
	各コマにおける授業予定	学内最終審査会①		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	自己の研究発表を行うことができる。他者の発表を聞いて批判的吟味が出来るようになる。	PC, プロジェクター、 各自ノートC持参	コメントを記入して発表者へ建設的意見を述べる
	各コマにおける授業予定	学内最終審査会②		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	他者の発表を聞いて批判的吟味をし、広い見識がもてるようになる。	PC, プロジェクター、 抄録集	後日、振り返りシートを提出する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会①ポスター発表会		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	他者の発表を聞いて批判的吟味をし、広い見識がもてるようになる。	PC, プロジェクター、 抄録集	後日、振り返りシートを提出する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会②ポスター発表会		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	他者の発表を聞いて批判的吟味をし、広い見識がもてるようになる。	大阪市中央公会堂 抄録集	後日、振り返りシートを提出する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会③		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標	他者の発表を聞いて批判的吟味をし、広い見識がもてるようになる。	大阪市中央公会堂 抄録集	後日、振り返りシートを提出する
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会④		